

修身小學卷之四

中等科第四篇五年後期

東京

木澤成肅
石川瀧齋

編輯
校訂

第十四章

○孝子ノ親ニ事フル。居ルトキハ其敬ヲ致シ。養フトキハ其樂ヲ致シ。病ムトキハ其憂ヲ致シ。喪ニハ其哀ヲ致シ。祭ニハ其嚴ヲ致ス。五ツノ者備ハリテ。然ル後ニ能ク親ニ事フ。親ニ事フル者ハ。上ニ居テ驕ラズ。下ト爲テ亂レズ。醜ニ在テ争ハズ。上ニ居テ驕レバ

修身小學卷之四 第十四章

亡フ。下ト爲テ亂ルレバ刑セラル。醜ニ在テ
争ヘバ兵セラル。三ツノ者除カザレバ。日ニ
三牲ノ養ヲ用ユト雖モ。猶不孝ト爲ルナリ。

理孝

○人ノ至親ハ。父子兄弟ヨリ過グルハナシ。
父子兄弟ノ和セザルハ。蓋シ人ノ性ニ因テ
同ジカラズ。父必ズ子ノ性已ニ合フヲ欲スル
モ。子ノ性未ダ必然ラズ。兄必ズ弟ノ性已ニ合
フヲ欲スルモ。弟ノ性未ダ必然ラズ。若シ悉

ク此理ヲ悟ラバ。父兄タル者情ヲ子弟ニ通
シテ。子弟ノ已ニ同ジキヲ責メズ。子弟タル
者仰テ父兄ニ承ケ。父兄ノ已ニ同ジキヲ望
マザレバ。事ニ處スルノ際必ズ相和協セシ。畜
徳

録

信義

○王陽明曰ク。交友ハ相下ルヲ以テ主ト爲
ス。故ニ相會スルノ時。須ラク心ヲ虚クシ。志
ヲ遜リテ親ミ敬スベシ。或ハ議論合ハザレ
バ。從容涵養シ。相感ズルニ誠ヲ以テスルニ

誠慎

アリ。氣ヲ動カシテ勝ヲ求メ。傲ニ長ジテ非
ヲ遂グルコト勿レ。王陽明文集

○衆人ハ富ニ居テ。多ク貧ヲ忘ル。須ラク節
儉ニシテ奢侈ナカルベシ。貴ニ居テ多ク故
舊ヲ忘ル。當ニ存恤シテ疎セザルベシ。歳長
ジテ多ク父母ヲ忘ル。宜シク身ヲ終ルマデ
思慕スベシ。病癒エテ多ク慎ヲ忘ル。須ラク
安樂常ニ病苦ノ時ヲ念フベシ。凡ソ自ラ修
ムル者ハ。當ニ初ヲ忘ル。ヲ以テ誠ト爲ス

ベシ。慎思
録

○方正學曰ク。己ノ私ヲ先ニシテ。天下ノ憂
ヲ後ニスルコト無レ。外物ヲ重ジテ。天爵ノ
貴キヲ忘ル。コト無レ。耳口ノ娛ヲ以テ。腹
心ノ蠹ヲ爲スコト無レ。一時ノ安ヲ苟モシ
テ。終身ノ累ヲ招クコト無レ。操リ難クシテ
縦チ易キ者ハ情ナリ。完シ難クシテ毀チ易
キ者ハ名ナリ。貧賤ニシテ無カルベカラザ
ル者ハ志節ノ貞ナリ。富貴ニシテ有ルベカ

ラザル者ハ。意氣ノ盈テルナリ。畜徳録

德行

○交ハルノ初ハ。多ク其善ヲ見。其久シキニ及デヤ。其過ヲ見ルハ。厭心生スレバナリ。人ノ生ルヤ。但其過ヲ見。其死スルニ及デヤ。其善ヲ念フハ。哀思之ヲ動カスノミ。人能ク死者ヲ待ツノ心ヲ以テ。生人ヲ待テバ。其材ヲ取ルヤ必寛。人能ク初交ヲ待ツノ心ヲ以テ。故舊ヲ待テバ。其備ハラシコトヲ責ムルヤ必^ズ恕^ス。願體集

○人。非理相加フルコトアリ。或ハ卑幼反テ無禮ヲ行ヒ。或ハ負心ノ人。恩ヲ讎ニ報ゼントスル。此等ハ俱ニ無知ノ妄人ニ屬ス。亦世間常ニアルノ事ナリ。切ニ之ト爭論スベカラズ。我ニ在テ是ナル處アリト雖モ。若シ自ラ理直ヲ恃テ。以テ勝ヲ人ニ取ラント欲セバ。許多ノ禍端ヲ生出セン。此際ニ至ラバ。兩邊俱ニ是ナラズ。知世事

勸學

○凡、學ヲ爲スノ工夫ハ。日用ノ外ニアラズ。

身ヲ檢スレバ。則チ動靜語默。家ニ居レバ。則チ親ニ事ヘ。兄ニ從フ。理ヲ窮ムレバ。則チ書ヲ讀ミ。義ヲ講ズ。大抵一箇ノ是非ヲ分別シ。彼ヲ去リ。此ヲ取ラバ。妙理アリ。其至近至易ヲ論ズレバ。卽今當ニカヲ用ユベシ。其至急至切ヲ論ズレバ。卽今當ニカヲ用ユベシ。朱子

錄語

○歐陽修曰ク。身ヲ立ツルハ。學ヲカムルヲ以テ先ト爲ス。學ヲカムルハ。書ヲ讀ムヲ以

誠慎

テ本ト爲ス。第能ク日ニ積ムノ功ヲ加ヘバ。何ゾ至ラザルコトヲ患ヘン。諺ニ云フ。絲ヲ積テ縷ヲ成シ。寸ヲ積デ尺ヲ成シ。寸尺已マザレバ。遂ニ丈匹ヲ爲スト。此言小ト雖モ。以テ大ニ喻フベシ。汝ガ輩之ヲ勉メヨ。善誘法
○徳川公家康曰ク。人ノ一生ハ。重荷ヲ負フテ遠キ道ヲ行クガ如シ。急グベカラズ。不自由ヲ常ト思ヘバ。不足ナシ。心ニ望興ラバ。困窮シタル時ヲ思ヒ出スベシ。堪忍ハ無事長

久ノ基。怒ハ敵ト思ヘ。勝ツコトヲ知テ。負ル
コトヲ知ラザレバ。害其身ニ至ル。己ヲ責メ
テ。人ヲ責ム可カラズ。及バザルハ。過キタル
ヨリ勝レリ。東照公
壁書

○蕪頌嘗テ曰ク。楊告吾ニ謂テ曰ク。嘗テ韓
非ノ一言ヲ愛ス。土木ノ偶人ハ。耳鼻ハ大ナ
ランコトヲ欲シ。口目ハ小ナランコトヲ欲
スト。此言以テ大ニ喩フベシ。土木ノ偶人ニ
シテ。鼻先ヅ小ニ。目先ヅ大ナランニ。人或ハ

之ヲ非ラバ。以テ爲スコト無ケン。鼻大ナレ
バ小ニスベク。目小ナレバ大ニスベシ。凡事
皆然リ。言行
錄

恙

○曾子弊衣ヲ衣テ以テ耕ス。魯君人ヲシテ
往テ邑ヲ致サシム。曰ク此レヲ以テ衣ヲ修
メヨ。曾子受ケズ。使反テ復往ク。又受ケズ。使
者曰ク。先生人ニ求ムルニ非ズ。人之ヲ獻ズ。
何爲ッ受ケザル。曾子曰ク。臣之ヲ聞ク。人ニ
受クル者ハ人ヲ畏ル。人ニ予フル者ハ人ニ

驕ル。君賜フアリ。我ニ驕ラザレドモ。我能ク
畏ル、コトナカラシヤ。終ニ受ケズ。孔子之
ヲ聞テ曰ク。參ノ言ハ以テ其節ヲ全フスル
ニ足レリ。家

禮讓

○人家ノ興替ハ。禮義ニアリテ。富貴ニアラ
ズ。縱令貴キコト公相ト爲リ。富メルコト朱
頃ニ等シキモ。人禮義ナケレバ。正ニ家ノ替
ト爲ス。若シ葷食瓢飲シ。肘見ハレ。纓絶ユル
モ。人禮義アレバ。正ニ家ノ興ト爲ス。吾人ハ

誠慎

身ノ爲ニ計リ。子孫ノ爲ニ計リ。親族朋友ノ
爲ニ謀ルニ。皆當ニ此ノ如クシテ忠ト爲ス

ベシ。陸象山
文鈔

○貝原益軒曰ク。朝廷公所。暨ビ衆會廣坐ノ
中ニ在テハ。衆人ト雖モ。放恣ヲ爲ス能ハズ。
唯閨門ノ中ニ在テハ。恐ラクハ自ラ欺キ。人
ヲ欺クノ行多シ。若シ内行慎マズ。唯外邊ニ
於テ謹厚ナル者ハ。皆虚飾トナス。故ニ君子
ノ道ハ。内行ヲ慎ムヲ先トス。中庸ニ曰ク。君

子ノ及バザル所ノ者ハ。其レ唯人ノ見ザル
所ナルカ。慎思錄

○己ヲ處シ物ニ接スル常ニ慢心偽心妬心
疑心ヲ懷ク者ハ。皆自ラ輕辱ヲ人ニ取ル。君
子ハ爲ザルナリ。慢心アル者ハ。自ラ人ニ如
カズシテ。好デ人ヲ輕薄シ。己ニ敵スル以下
ノ人。及ビ我ニ求メアル者ヲ見レバ。面前既
ニ禮ヲ加ヘズ。背後又竊ニ譏笑ス。若シ能ク
其身ヲ回省セバ。媿汗背ニ決ネカラシ。世範

第十五章

孝悌

○李忠毅公子ヲ誡ムル書ニ曰ク。祖父母。汝
ヲ愛ス。汝狎レテ敬ヲ怠レ。汝ガ母。汝ヲ訓ユ。
汝傲テ親マズ。今吾測ラレズ。汝吾ニ代リテ
子タラバ。仰テ祖父母ノ心ニ體セザルベケ
ンヤ。汝ガ母ニ至テハ。更ニ何人ニ倚ラン。汝
若シ不孝ナラバ。神明之ヲ罰殛セン。此レ宜
シク孝ニシテ。以テ親ニ事フル可シ。五種遺規
○樂正子春堂ヨリ下テ。其足ヲ傷フ。數月出

デズ憂色アリ。門弟子曰ク。夫子ノ足瘳エタ
リ。猶憂色アルハ何ツヤ。樂正子春曰ク。吾聞
ク天ノ生ズル所。地ノ養フ所。唯人ヲ大ナリ
トス。父母全フシテ之ヲ生ム。子全フシテ之
ヲ歸ス。孝ト謂フベシ。其體ヲ虧カズ。其身ヲ
辱メズ。全フスト謂フベシ。故ニ君子ハ頃歩
モ敢テ孝ヲ怠レズ。今予孝ノ道ヲ怠ル。是ヲ
以テ憂色アリ。記禮

忠烈

○宋ノ太宗侍臣ニ謂テ曰ク。士ノ古ヲ學デ

官ニ入り。時ニ遭フテ位ヲ得ルハ。以テ榮ト
ナスニ足レリ。誠ヲ竭シテ以テ國ニ報キザ
ルヲ得ンヤ。錢若水曰ク。高尚ノ士ハ。名位ヲ
以テ光寵ヲ爲ザス。忠正ノ士ハ。窮達ヲ以テ
志操ヲ易ヘズ。其レ或ハ爵祿位遇ノ故ヲ以
テ忠ヲ上ニ效スハ。中人以下ノ爲ス所ナリ。
帝之ヲ然リトセリ。畜德錄

誠慎

○佐藤一齋曰ク。人皆往年ノ既ニ去ルヲ怠
レテ。次年ノ未ダ來ラザルヲ圖リ。前日ノ已

ニ過グルヲ舍テ。後日ノ將ニ至ラントスル
ヲ慮ル。是ヲ以テ百事苟且。終ニ齷齪シテ。以
テ老死スルニ至ルハ嘆ズベキナリ。故ニ人
ハ宜シク少壯ノ時。困苦アリ難艱アルヲ回
顧シテ。以テ今ノ安逸タルコトヲ知ルベシ。
是レ之ヲ自ラ本分ヲ知ルト云フ。言志
董錄
○恐懼ハ身ヲ修ムルノ本ナリ。事ノ前ニシ
テ恐懼スレバ畏ル。畏ルレバ以テ禍ヲ免ル
ベシ。事ノ後ニシテ恐懼スレバ悔ユ。悔ユレ

バ以テ過ヲ改ムベシ。知者ハ畏ヲ以テ悔ヲ
消シ。愚者ハ畏ル所ナクシテ悔ユルヲ知ラ
ズ。故ニ知者ハ身ヲ保チ。愚者ハ身ヲ殺ス。省
心

錄

德行

○己ガ徳ノ大ナラザル所以ハ。正ニ舊習ニ
纏繞セラレテ。未ダ掉脱スルコト能ハザル
ニヨル。故ニ善ヲ爲スモ。善未ダ純ナラズ。惡
ヲ去ルモ。惡未ダ盡キズ。一タビ舊習ヲ刮テ。
一言一行道ニ合フコトヲ求ムベシ。否ラザ

レバ人ニ非ズ。畜徳録

○至誠ノ人ヲ待ツニハ。當ニ至誠ヲ以テ待ツベシ。譎詐ノ人ヲ待ツニハ。尤モ當ニ至誠ヲ以テスベシ。蓋シ。譎詐ノ人ハ。病誠ナラザルニアリ。若シ其人誠ヲ以テ動カスベカラズトナシ。偶譎詐ヲ參フレバ。彼必愈動カスニ誠ヲ以テセザルノミナラズ。並ニ且我ヲ詐ニ陷ル、ナリ。魏叔子曰錄

○君子ハ其財ヲ棄ツ。貧窮ヲ救フ者ハ。其財

意

ヲ愛マザルニ非ズ。其財ヲ愛ムコト甚ダシクシテ。之ヲ德義ニ用ント欲スルナリ。故ニ能ク貧窮ヲ賑恤スル者ハ。其平日財ヲ用ユルヲ視ルニ。必^ス儉約ニシテ。妄リニ費サザルノ人ナリ。貧窮ヲ救フコト能ハザル者ハ。必^ス驕奢ニシテ。妄リニ費スノ人ナリ。慎思錄

○吾ガ疑フ所ヲ人ニ問フハ。智ヲ求ムル道ナリ。自ラ心ニ道理ヲ思フハ。智ヲ開ク本ナリ。問フハ智ヲ人ニ求ムルナリ。思フハ智ヲ

勸

修身、學、夫、之、曰、十、尺、大、信、哉

吾ニ求ムルナリ。人ニ問ハザレバ。知ル所狹クシテ。心ノ迷解ケズ。自ラ思ハザレバ。見聞博シト雖モ。道理ヲ我ガ心ニ深ク自得スル能ハズ。是故ニ問フト思フトノ二ツハ。理ヲ究メ。智ヲ明カニスル道ニシテ。學ノ要ナリ。

大和俗訓

○顏氏家訓ニ曰ク。古ノ學者ハ人ノ爲ニス。故ニ道ヲ行フテ以テ世ニ利ス。今ノ學者ハ己カ爲ニス。故ニ身ヲ脩メテ以テ德ニ進ム

コトヲ求ム。夫レ學者ハ猶種樹ノ如シ。文章ヲ講論スルハ春華ナリ。身ヲ修メ行ヲ利スルハ秋實ナリ。人生幼キ時。精神利ニ專ラナレハ。長ジテ後思慮散ズ。固ヨリ早ク教フベシ。機ヲ失フコト勿レ。

誠慎

○薛文清曰ク。辱ノ一事ハ最モ忍ビ難キ所ナリ。古ヨリ豪傑ノ士多ク此レニ由テ敗ル。竊ニ意フニ辱ノ來ル時。其人何如ト察シ。彼小人ナレバ。直我ニアリ。何ゾ必シモ怒ラン。

彼君子ナレバ直彼ニアリ。怒ルベカラズ。辱
ノ自ラ來ル所ヲ審カニセズシテ。一ニ怒ヲ
以テ之ニ應ゼバ。相讎シ相害フ所以ナリ。四戒

鈔彙

○人過失アリ。其父兄ニ非ガレバ。孰カ肯テ
誨責セン。其契愛ニ非ガレバ。孰カ肯テ諫論
セン。泛然トシテ相識ラバ。竊ニ之ヲ議スル
ニ過ギズ。君子過アレバ。密ニ人ノ言アルヲ
訪ヒ求メテ。改メンコトヲ思フ。小人一人ノ

志

言アルヲ聞カバ。好デ強辯ヲ爲シ。往來ヲ絶
ツニ至ル者アリ。袁氏世範

○語ニ曰ク。家ニ常業アレバ。饑ト雖モ餓ヘ
ズト。夫レ常業ナキ者ハ遊民ナリ。惟餓ヲ免
レザルノミナラズ。放僻邪侈。至ラザルコト
ナシ。而シテ刑戮之ニ從フ。古ノ志士ハ。經ヲ
帶ビテ鋤キ。薪ヲ負フテ讀ムト。固ヨリ貧キ
者ノ業ナリ。奚ヤ耻ツルニ足ランヤ。畜德錄

○司馬溫公曰ク。禮ノ物タル大ナリ。之ヲ身

禮讓

誠慎

ニ用ユレバ。動靜法アリテ百行備ハル。之ヲ家ニ用ユレバ。内外別アリテ九族睦マシ。之ヲ郷ニ用ユレバ。長幼倫アリテ俗化美ナリ。之ヲ國ニ用ユレバ。君臣叙アリテ政治成ル。
通鑑
○道ヲ得ル者ハ助多ク。道ヲ失フ者ハ助寡シ。事ハ使ヒ盡スベカラズ。勢ハ倚リ盡スベカラズ。言ハ道ヒ盡スベカラズ。福ハ享ケ盡スベカラズ。福盡レバ身貧窮ス。勢盡レバ寛

相逢フ。福ハ常ニ自ラ惜ミ。勢ハ常ニ自ラ恭ムベシ。人ノ驕ハ始アリテ終ナシ。豈之ヲ慎マザルマケンヤ。
願體集

○凡人忿怒ノ時行フ所ハ。怒解クレバ必悔ユ。故ニ怒ルトキハ。宜シク自ラ思フコトナク。行フコト勿レ。譬ヘバ水ヲ渡ラント欲スル者ノ如シ。風ニ順ヘバ則チ行キ。逆ヘバ則チ止ム。故ニ怒ル時。凡ソ爲サント欲スル所ハ。理ニ近キニ似タリト雖モ。第疑フテ信ズル

修身小學 卷之四 古 民之官成

勿レ。緩フシテ急ニスル勿レ。此時最モ語言
行事ニ便ナラザルコトアリ。畜德錄

第十六章

孝悌
○喪祭ノ禮ハ。終ヲ慎ミ遠キヲ追フノ道ナ
レバ。心ヲ用キテ厚ウスベシ。然レドモ厚キ
ニ過キ事ヲ生ジテ。國法ヲ犯スベカラス。祖
先ハ子孫ノ根本ナリ。年代遠シト雖モ。春秋
ノ祭ヲ厚フシ。其根本ニ報ユルノ心少シモ
怠ルベカラズ。根本ヲ培養スレバ。枝葉碩茂

セザルハナシ。祖先ノ祭ヲ厚フスレバ。子孫

榮達セザルハナシ。人生必讀書

○凡子タル者。父母ノ命ヲ受ケテハ。必ス籍ニ
記シテ之ヲ佩ビ。時ニ習フテ速ニ之ヲ行ヘ。
事畢ラバ則チ命ヲ反セヨ。或ハ命ズル所。行
フベカラザル者アラバ。聲ヲ柔ラゲ。是非利
害ヲ具ヘテ之ヲ白シ。父母ノ許ヲ待テ後ニ
之ヲ改メヨ。若シ許サレバ。苟モ事ニ於テ
大害ナキ者ハ。當ニ曲從スベシ。若シ父母ノ

信義

命ヲ以テ非トナシテ。直ニ己ガ志ヲ行ハバ。執ル所皆是ナリト雖モ。猶不順ノ子ト爲ス。况ヤ未ダ是ナラザルヲヤ。温公家儀

○朋友甚ダ相得ルモ。未ダ事々意ノ如キ者アラズ。一言一事ノ合ハザルハ。自ラ含忍シテ。遂ニ輕々シク惡言ヲ出スベカラズ。亦必人ニ逢フテ。愬ヘ説クマカラズ。恐ラクハ。怒過ギ心回リテ。再ビ見ルニ顔ナク。且ツ恐ラクハ。他友之ヲ聞カバ。各自ラ寒心セン。願體集

德行

誠慎

○狎侮戲謔ノ來ル時之ヲ處スルニハ。惟答ヘザルノミ。其答ヘザル所以ニ二道アリ。我が招ク所以ノ者アラバ。自ラ反シテ之ヲ更メヨ。招ク所以ノ者ナケレバ。之ヲ受クルモ聞カザルガ如クシ。彼ヲシテ知ルコトアラシメバ。慚テ自ラ止ムベシ。設シ其レ知ルコトナケレバ。意亦浸ク消セン。畜德錄

○人ト同ジク官職ヲ務ムル者。我ノミ獨リ身ヲ立テ。名ヲ得ントスベカラズ。是ノ如ク

十六
官處

スレバ。人亦争テ我ヲ立テントス。是レ却テ
身ノ災トナル。已立タントスレバ。先ヅ人ヲ
立ツベシ。是ノ如クスレバ。人モ亦争ハズ。我
ガ才ニ矜リ。同官ヲ蔑シ。一人事ヲ取ラント
スレバ。同官必之ヲ惡ミ。害又已ニ及バン。善
キ事ハ同官ニ譲リ。我一人ノ才名ヲ著サン
トスベカラズ。大和俗訓
○子思衛ニ居ル。衛人河ニ釣シテ。鰕魚ヲ得
タリ。其大サ車ニ盈ツ。子思問テ曰ク。鰕魚ハ

勸學

魚ノ得難キ者ナリ。子果シテ何ゾ之ヲ得ル。
對テ曰ク。吾始メ釣ヲ下ダス。一魴ノ餌ヲ垂
ル。鰕魚過ギテ視ザルナリ。更ニ豚ノ半體ヲ
以テス。乃チ之ヲ吞ム。子思曰ク。鰕魚ハ得難
シト雖モ。貪テ以テ餌ニ死ス。士道ヲ懷クト
雖モ。貪レバ以テ祿ニ死ス。孔子叢
○聖賢ノ學ハ心ニ在リ。心ヲ治ムルノ要。敬
ニ在リ。心苟モスル所ナケレバ。言行自ラ苟
モスル所ナシ。故ニ學ハ惟之ヲ要ト爲ス。聖

人ノ心ハ敬ニ純ナリ。是ヲ以テ之ヲ行ニ見
ハシテ。天下ノ法ト爲ル。之ヲ言ニ出シテ。天
下ノ則ト爲ル。之ヲ千百世ニ傳ヘテ。同ジカ
ラザル有ルコト無シ。皦々乎トシテ其レ彰
レ。洋々乎トシテ其レ盛ンナリ。聖經賢傳ノ
天地ト悠久ナル所以ノ者ハ。其レ此レヲ以
テスルニアラスヤ。爰日樓文
○徐節孝學者ニ訓ヘテ曰ク。諸君。君子トナ
ラント欲シテ。己ノカヲ勞シ。己ノ財ヲ費ヤ

ス。此ノ如クニシテ。君子トナラザルハ猶ホ
可ナリ。己ノカヲ勞セズ。己ノ財ヲ費サズ。諸
君何ッ。君子ト爲ラザル。郷人之ヲ賤ミ。父母
之ヲ惡ム。此ノ如クニシテ。君子ト爲ラザル
ハ猶ホ可ナリ。父母之ヲ欲シ。郷人之ヲ榮トス。
諸君何ッ。君子トナラザルヤ。呂氏童蒙訓
○魏莊渠黎世謙ニ答フル書ニ曰ク。兄備サ
ニ險阻ヲ嘗ムルト聞ク。固ニ天ノ汝ヲ玉ニ
スル所以ナリ。松柏モ氷雪ヲ歷ザレバ。幾ド

志

六

凡卉ト異ナルコトナシ。大丈夫ハ歲寒ノ節。正ニ須ラク摧挫ヲ受ケ。挺拔シテ羣ヲ出ヅベシ。纔ニ根器アレバ。則チ遠大ヲ致サン。畜德

錄

禮讓

○凡、貧賤ノ人ヲ見テハ。倨慢スベカラズ。當ニ謙和スベシ。我禮ヲ以テ之ヲ待テバ。彼貧賤ナリト雖モ。亦禮ニ屈服スベシ。我倨慢ナレバ。小人ハ怨ヲ蓄ヘ。心端ヲ借リ。釁ヲ生ジ。我反テ其毒ヲ受ケン。何如ソ。我禮ヲ以テ之

ヲ待タザランヤ。語ニ云フ。小物ヲ輕ズル勿レ。小蟲モ身ニ毒ス。小事ヲ輕ズル勿レ。小隙モ舟ヲ沈マス。知世事

誠慎

○范純仁。子弟ヲ誠メテ曰ク。人至愚ト雖モ。人ヲ責ムルハ明カナリ。聰明アリト雖モ。己ヲ恕スルハ昏シ。爾ガ曹但。常ニ人ヲ責ムルノ心ヲ以テ己ヲ責メ。己ヲ恕スルノ心ヲ以テ人ヲ恕セバ。聖賢ノ地位ニ到ラザルヲ患ヘスト。親戚ノ間。教ヲ請フ者アレバ。曰ク。惟

儉以テ廉ヲ助ク可ク。惟怒以テ徳ヲ成ス可
シト。其人座隅ニ書シテ。身ヲ終ルマデ服ス。

言行
録

○孔子曰ク。身ヲ行フニ六本アリ。本立テ而
シテ後ニ君子ト爲ル。體ヲ立ツルニ義アリ。
而シテ孝ヲ本ト爲ス。喪ニ處ルニ禮アリ。而
シテ哀ヲ本ト爲ス。戰陣ニハ隊アリ。而シテ
勇ヲ本ト爲ス。治政ニハ理アリ。而シテ能ヲ
本ト爲ス。國ニ居ルニ禮アリ。而シテ忠ヲ本

ト爲ス。オヲ生スルニ時アリ。而シテカヲ本
ト爲ス。本ヲ置クヲ固カラザレバ。豊未ヲ務
ムルコトナシ。家語

第十七章

孝悌

○孟子曰ク。事フルコト孰レカ大ナリト爲
ス。親ニ事フルヲ大ナリト爲ス。守ルコト孰レ
カ大ナリト爲ス。身ヲ守ルヲ大ナリト爲ス。
其身ヲ失ハズシテ。能ク其親ニ事フル者。吾
之ヲ聞ケリ。其身ヲ失フテ。能ク其親ニ事フ

孝悌
卷之四
廿

ル者ハ吾未ダ之ヲ聞カズ。孰レカ事フルト
爲サツラン。親ニ事フルハ。事フルノ本ナリ。
孰レカ守ルト爲サツラン。身ヲ守ルハ。守ル
ノ本ナリ。孟子子

信義

○王陽明曰ク。善ヲ責ムルハ朋友ノ道ナリ。
忠ニ告ゲテ善ク之ヲ導クト。故ニ能ク善ヲ
責ムル者ハ。愛ヲ恣シ婉曲ヲ致シ。彼之ヲ聞
テ從フベク。之ヲ擇デ改ムベク。感ズル所ア
リテ。怒ル所ナカラシメバ。即チ善ヲ爲スノ

誠慎

ミ。若シ其過惡ヲ暴白シ。痛ク毀リ極メテ詆
リテ。容ル、所ナカラシメバ。彼將ニ愧耻憤
恨シ。降テ以テ相從ハントシテ。勢能ハザル
所アリ。是レ之ヲ激シテ惡ヲ爲サシムルナ
リ。王陽明文集

○魏徵疏シテ曰ク。臣聞ク。木ノ長キヲ求ム
ル者ハ。必ス其根ヲ固クス。流ノ遠カラシコト
ヲ欲スル者ハ。必ス其泉源ヲ浚クス。國ノ安カ
ランヲ思フ者ハ。必ス其德義ヲ積ム。源深カ

ラズシテ。流ノ遠キヲ望ミ。根固カラズシテ。
木ノ長カラシコトヲ求メ。徳厚カラズシテ。
國ノ理マランコトヲ思フ。臣下愚ト雖モ。其不
可ナルヲ知ル。而ルヲ況ヤ明哲ニ於テヲヤ。

貞觀
政要

○善惡ハ必^ス禍福ノ應アリ。天道ハ還スヲ好
ム。其理甚ダ昭明ニシテ。信スベク畏ルベシ。
但、遲速アルノミ。衆人ハ此理ヲ知ラズ。故ニ
善ヲ作スモ。不善ヲ弭ムル^レ能ハズ。妄リニ

德行

禱請シテ福ヲ鬼神ニ求ム。然レドモ鬼神ハ
聰明正直ナリ。理ヲ枉ゲテ人ニ福セズ。斯理
亦甚ダ昭々タリ。庸人ト雖モ。亦當ニ其益ナ
キ^{コト}ヲ識ルベシ。何ゾ陰徳ヲ行フテ。自^ラ陽
報アルニ若カンヤ。人人慎ミ思ハズンバア
ルベカラス。慎思
錄

○人ハ寛厚ニシテ。包容ナルヲ要シ。又分限
ノ嚴ナルヲ要ス。分限嚴ナラザレバ。事立ツ
ベカラズ。人得テ之ヲ侮ル。魏公素寛厚ナリ。

然レドモ朝廷ノ事ニ及デハ。凜然トシテ犯
スベカラズ。當世ノ名臣タル所以ナリ。今日
ノ寛厚ナル者ハ犯シ易ク。威嚴ナル者ハ容
ル、一少シ。事業ノ際ニ於テ皆病アリ。許魯齋語

錄

○我厚キヲ以テ人ヲ待ツニ。人薄キヲ以テ
我ヲ待テバ。薄キニ非ズ。是レ我が厚キノ至
ラザルナリ。我禮ヲ以テ人ヲ待ツニ。人虚ヲ
以テ我ニ加ヘバ。虚ニ非ズ。是レ我が禮ノ未

慈惠

ダ至ラザルナリ。彼何ノ罪アラシヤ。已厚禮
スルニ。彼復薄虚ナルハ。乃チ我が命ナリ。彼
何ノ罪アラシヤ。是ヲ以テ君子ハ天ヲ怨ミ
ス。人ヲ尤メズ。知世事

○郷人錢物ヲ糾率シテ。以テ橋ヲ造リ。路ヲ
修メ。及ビ渡船ヲ打造スル者アラバ。宜シク
カニ隨テ之ヲ助クベシ。財ヲ捨ツルモ。福ヲ
獲ラレズト謂テ。爲サヅルベカラズ。若シ道
路既ニ成ラバ。吾ノ晨夕往來スルモ。僕馬ノ

誠慎

踈虞ナク。及ビ輿馬ニ乘リ。橋梁ヲ過ギテ。惴
慄セザル者ハ。皆獲ル所ノ福ナリ。袁氏世範
○凡益ヲ求ムルノ道ハ。能ク盡言ヲ受クル
ニ在リ。或ハ經旨ヲ議論シ。見ノ到ラザル有
リ。或ハ文字ヲ撰ビ。未ダ工ナラザルアリ。或
ハ己が行フ者。未ダ善カラザルアリ。人能ク
我が爲ニ盡ク之ヲ言フ。我ハ恭ヲ致シ禮ヲ
盡シ。心ヲ虚ニシテ之ヲ納レ。果シテ從フベ
キアレバ。終身服膺シテ失ハズ。或ハ從フベ

擊

カラガレバ。退テ自ラ省ミル。畜徳録

○徐節孝初メ安定ノ胡先生ニ從テ學ベリ。
心ヲ潜メ力行シテ。復仕進セズ。其學至誠ヲ
以テ本ト爲ス。母ニ事ヘテ至孝ナリ。自ラ言
フ。初メ安定先生ニ見ユ。退ク時ニ頭ノ容少
シク偏ナリ。安定忽チ聲ヲ厲マシテ曰ク。頭
ノ容直クセヨ。因テ自ラ思フ。獨リ頭ノ容直
キノミナラズ。心モ亦直カラシコトヲ要セ
シ。此レヨリ敢テ邪心ヲ生ゼス。元城語錄

○嘉肴アリト雖モ。食ハザレバ其旨キラ知
 ラズ。至道アリト雖モ。學ハザレバ其善キラ
 知ラズ。是故ニ。學デ然ル後ニ足ラザルコトヲ
 知ル。教エテ然ル後ニ困ムコトヲ知ル。足ラ
 ザルコトヲ知テ。然ル後ニ能ク自ラ反ル。困ム
 コトヲ知テ。然ル後ニ能ク自ラ強ム。故ニ曰ク。
 教學相長ズト。兌命ニ曰ク。教ユルハ學ブコト
 半トハ。其レ此レ之ヲ謂フ乎。禮記
 ○魏ノ董遇。性質訥ニシテ學ヲ好ミ。兄季中

ト。耜ヲ採テ負販ス。常ニ經書ヲ持シ。閑ニ投
 シ習讀ス。明帝ノ時。官大司農ニ至ル。人從ヒ
 學ブ者アレバ。教フルコトヲ肯ゼズ。云フ。當ニ
 先ヅ讀ムコト百遍スベシ。讀書百遍スレバ。
 義自ラ通ズト。從學ノ者。暇日ナキラ苦ム。遇
 曰ク。當ニ三餘ヲ以テスベシ。冬ハ歲ノ餘ナ
 リ。夜ハ日ノ餘ナリ。陰雨ハ時ノ餘ナリ。魏畧
 ○董槐。少フシテ兵ヲ言フヲ喜ブ。陰ニ孫武。
 曹操ノ書ヲ讀デ曰ク。吾ヲシテ用フルコトヲ

得セシメバ。將ニ中原ヲ汎掃シテ。以テ天子
ヲ還サントスト。事ヲ論ズル。忼慨。自ラ諸葛
亮。周瑜ニ比ス。父永怒テ曰ク。學ヲカメズ。又
自ラ大言ヲ喜ブ。此レ狂生ノミ。吾願ハザル
ナリ。槐心ニ愧ヂ。自ラ挫折シテ。葉師雍ニ學
ブ。遂ニ進士ノ第ニ登リ。福州福建路ノ安撫
大使ヲ授カリ。許國公ニ封セララル。宋史
○馬援ガ兄ノ子嚴。敦並ニ譏議ヲ喜デ。輕俠
ノ客ニ通ズ。援交趾ニ在テ書ヲ遣シ。之ヲ誠

誠慎

メテ曰ク。吾ハ汝ガ曹人ノ過失ヲ聞ク。父
母ノ名ヲ聞クガ如ク。耳ニ聞クヲ得ベク。口
ニ言フヲ得ベカラザラン。一ヲ欲ス。好テ人
ノ長短ヲ議論シ。妄リニ正法ヲ是非スル。一
此レ吾ガ大ニ惡ム所ナリ。寧死ストモ。子孫
ニ此行アルヲ聞クヲ願ハズ。後漢書
第十八章
○孔子曰ク。其親ヲ愛セズ。他人ヲ愛スル者。
之ヲ悖徳ト謂フ。其親ヲ敬セズ。他人ヲ敬ス

孝悌

修身小學 卷之四 孝悌

ル者之ヲ悖禮ト謂フ。以テ訓フレバ昏シ。民
 則トルナシ。善ニ宅ラズシテ。皆凶徳ニ在
 リ。志ヲ得ルト雖モ。君子ハ從ハザルナリ。君
 子ハ然ラズ。言ハ道フベキヲ思ヒ。行ハ樂ム
 ベキヲ思フ。徳誼尊ブベク。作事法トスベク。
 容止觀ルベク。進退度トスベシ。以テ其民ニ
 臨ム。是ヲ以テ其民畏レテ之ヲ愛シ。則トリ
 テ之ニ象ドル。經孝

○古ヨリ人倫賢否相雜ハル。或ハ父子皆賢

二十七頁以降

欠